

令和4年度「ダンボールコンポスト・メイト」懇話会

1. 日 時 令和4年11月22日(火) 14:00～15:30
2. 場 所 函館市中央図書館 2階大研修室
3. 出席者
 - (1) ダンボールコンポスト・メイト 11名
 - (2) 講師兼アドバイザー
はこだて魚の会 柿崎 陽子
 - (3) 函館市環境部環境推進課 4名
4. 要 旨
 - (1) 函館市からの説明(配布資料に沿って説明)
 - ・生ごみの減量対策
 - ・令和4年度 ダンボールコンポスト・メイトの生ごみ投入量(11月現在)
 - (2) ダンボールコンポスト・メイトさんからの感想
 - ・良かったこと
生ごみの投入量が減った。
楽しく取り組めた。
家庭菜園で安全な堆肥を使用できた。
 - ・困ったこと
温度が上がらなかった。
ダンボール箱がふやけた(壊れた)。
虫が発生した。
かき混ぜるのが大変だった。
野菜が分解されず残った。
 - ・堆肥づくりのこつ
毎日かき混ぜる。
生ごみを水切りしてから、細かくして入れる。
貝殻や魚の骨などは、なるべく入れない。
 - ・その他
毎日続けることが思ったより大変だった。
 - (3) 柿崎講師からのアドバイス
 - ・皆さんにお渡ししている20Lの基材で、1日の生ごみの投入量が500gから600gを目安として3ヵ月で終了となっていますので、投入する量が少なければ3ヵ月以上続けてください。
生ごみは35kg～45kgまでは入れられます。多く入れた日(600g以上)の翌日は少量にする。多く入れても構わない。
 - ・小ばえや悪臭の発生は水分が多い、温度が低い等が原因になっているので、水分が多い、温度が低い場合はピートモスを調整しながら入れてください。
臭いが気になる時はもみ殻くんたんを一握り入れてみてください。
 - ・温度については、15℃以上あるとゆっくりと生ごみが分解していきますので良くかき混ぜて続けてください。

5. 懇話会の様子

懇話会の開催の挨拶後（橋本主査，柿崎講師）会が進められました。



ダンボールコンポスト・メイトさんからの堆肥づくりの経験談が話し合われ、困ったこと等のアドバイスを柿崎講師からいただきました。



メイトさんのご自宅で作成中の堆肥を柿崎先生が確認し、水分の量などのアドバイスを行いました。

